

イオン環境財団 設立25周年記念講演会開催

今後も環境保全活動により一層取り組みます

公益財団法人イオン環境財団（理事長 岡田卓也 イオン株式会社名誉会長相談役、以下、当財団）は、1990年の設立以来、多くの皆さまに支えられ25年を迎えました。

「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する」というイオンの基本理念のもと設立された当財団は、温暖化や砂漠化、海洋汚染などの課題に直面している地球環境を守るため、環境活動に取り組む団体への助成や、国内外での植樹などのさまざまな活動を継続してまいりました。皆さまのご協力により、イオンの植樹はこの25年間で累計1,100万本に達しました。また、2010年に生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）で採択された「国連生物多様性の10年」に寄与すべく、「生物多様性アワード」の国内賞と国際賞の顕彰を隔年で実施するとともに、次世代の環境リーダー育成などにも積極的に取り組んでいます。

このたび、「環境と健康 — 宇宙からの貢献」をテーマに設立25周年記念講演会を3月9日（水）に開催します。環境問題には国境がなく、地球規模での取り組みが必要とされています。本講演会を通じて、日頃接する機会の少ない“宇宙から見た地球”という視座や、医学的な見地からも環境問題について考えていただく機会となることを願い、下記の講師をお招きし、ご講演をいただきます。

当財団は、いのちあふれる美しい地球を未来の子どもたちに引き継ぐため、これまで以上にさまざまな環境活動に積極的に取り組んでまいります。

【イオン環境財団設立25周年記念講演会について】

日 時：2016年3月9日（水）15：00～17：00

会 場：パレスホテル東京（東京都千代田区丸の内1-1-1）

テーマ：環境と健康 — 宇宙からの貢献

講 師：国際宇宙航行連盟 会長／国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 技術参与

樋口 清司 様

東京理科大学 副学長／医師 医学博士／宇宙飛行士

向井 千秋 様

ご参考

【イオン環境財団設立25周年記念講演会 講師ご紹介】

樋口 清司 様

- 国際宇宙航行連盟 会長
- 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 技術参与

1969年名古屋大学を卒業後、科学技術庁宇宙開発推進本部を経て宇宙開発事業団へ。小型ロケットの開発、H-1ロケットのシステム設計、国際宇宙ステーション計画の立ち上げ、将来計画の検討などに携わる。2003年10月の宇宙航空研究開発機構JAXA発足後は、理事として経営企画、国際、産学官連携、月惑星探査を担当。2010年4月から2015年3月まで独立行政法人宇宙航空研究開発機構副理事長。また2012年10月、国際宇宙航行連盟会長に就任、2014年10月に再選され現在2期目。



向井 千秋 様

- 東京理科大学 副学長
- 医師 医学博士
- 宇宙飛行士

1985年宇宙開発事業団（現 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構JAXA）の第1次材料実験・搭乗科学技術者として選定され入社。日本人女性初の宇宙飛行士。1994年にスペースシャトル・コロンビア号、1998年にスペースシャトル・ディスカバリー号に搭乗。現在、東京理科大学副学長、JAXA技術参与も兼任。



JAXA/NASA 提供

【当財団の主な事業について】

■植樹活動

地球温暖化防止と生物多様性の保全のため、国内外各地で植樹活動を行っています。2015年度は、北海道 厚真町、カンボジア プノンペン、ミャンマー ヤンゴン、千葉県 浦安市、宮崎県 綾町で、地域のボランティアの方々など、のべ3,800名の皆さまとともに、計35,300本の植樹を実施しました。また、2016年3月19日（土）には、ベトナム ハノイ植樹を予定しています。

(※以下、2015年度 植樹活動の様子)



6月13日(土) 北海道 厚真町



6月27日(土) カンボジア プノンペン



7月18日(土) ミャンマー ヤンゴン



11月14日(土) 千葉県 浦安市



11月21日(土) 宮崎県 綾町

■環境活動助成事業

当財団は1991年より毎年、「生物多様性の保全と持続可能な利用」のための活動に積極的・継続的に取り組んでいる国内外の団体を公募し、助成を行っています。助成先の活動は「植樹」「森林整備」「砂漠化防止」「里地・里山・里海の保全」「湖沼・河川の浄化」「野生生物の保護」「絶滅危惧生物の保護」など多岐にわたり、25年間の累計助成団体数は2,645件、助成総額は23億9,903万円となりました。

■生物多様性への取り組み

国連が定めた「国際生物多様性年」の2010年に、生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）が名古屋において開催されました。当財団はこれを機に、生物多様性の保全と持続可能な利用の促進を目的として、2009年より「生物多様性日本アワード（国内賞）」を、2010年より生物多様性条約事務局と共催で「The MIDORI Prize for Biodiversity（生物多様性みどり賞・国際賞）」を創設し、隔年で開催しています。生物多様性に関して積極的な活動に取り組む国内の団体や、世界・地域レベルで顕著に貢献している個人を顕彰し、生物多様性についての関心を高めることを目的としています。

当財団の活動の詳細につきましては、下記ホームページにてご覧いただけます。

公益財団法人イオン環境財団 <http://www.aeon.info/ef/>

【当財団の2016年度の事業予定について】

■植樹活動

| | | |
|----------------|-------------|-----------|
| 5月 4日(水・みどりの日) | 千葉県 千葉市 | (3年計画1年目) |
| 6月11日(土) | カンボジア プノンペン | (3年計画2年目) |
| 7月 2日(土) | 北海道 厚真町 | (3年計画2年目) |
| 7月16日(土) | ミャンマー ヤンゴン | (6年計画4年目) |
| 10月 1日(土) | 宮城県 亘理町 | (3年計画1年目) |
| 10月15日(土) | 中国 北京市密雲 | (3年計画1年目) |
| 11月12日(土) | 大分県 竹田市 | (3年計画1年目) |

■生物多様性への取り組み

| | |
|----------------|--|
| 8月 3日(水)~8日(月) | 第5回アジア学生交流環境フォーラム（北海道、千葉、東京） |
| 12月 中旬 | 第4回生物多様性みどり賞（国際賞）授賞式（メキシコ カンクン） 同受賞者フォーラム（東京） |